

東京都立つばさ総合高等学校 令和7年度（1年次用） 教科 公民 科目 公共

教科 公民 科目 公共 単位数 2 単位

対象学年組 第 1 学年 1 組～6 組

教科担当者

使用教科書 (『高等学校 公共』清水書院)

教科 公民 の目標

【知識及び技能】現代の諸課題を考察するための概念や理論について理解し、倫理的主体として活動するために必要となる情報リテラシーを向上させる。

【思考力、判断力、表現力等】公共的な空間における基本的原理を活用して、現実社会の諸課題の解決を志向する態度を養い、事実を基に多面的・多角的に考える力や、合意形成や社会参画に必要な対話力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図るために何が必要かを自分の問題として問う志向性を身につける。各国が相互に主権を尊重し、国際協調・国際貢献など互恵的な関係を築くことについて継続的に理解を深められる。

科目 公共 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
○現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解している。 ○諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめられる。	○現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用できる。 ○事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したり表現したりしている。	○よりよい社会の実現を視野に、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ○知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うなかで、自らの学習を調整しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	第1編第1章 公共的な空間をつくる私たち 【知識及び技能】・青年期の特徴と自己形成の課題、個人・社会・伝統と文化の三つの視点から捉えた人間のあり方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】・青年期の特徴と自己形成の課題、個人・社会・伝統と文化の三つの視点から捉えた人間のあり方について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】・青年期の特徴と自己形成の課題、個人・社会・伝統と文化の三つの視点から捉えた人間のあり方について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究している。	・指導事項 1 私たちの人生と社会 2 青年期の心理と課題 3 哲学の始源と発展-ギリシャ思想 4 一神教の教え 5 東洋の宗教と思想 （1）仏教（2）儒教 6 日本の風土と神仏への信仰 7 江戸時代の学問と近代化への歩み ・教材等 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている	【知識及び技能】 ・青年期の特徴及び青年期の発達課題であるアイデンティティの確立の意味について理解している。 ・現代社会を生きる課題とキャリア開発の意義、人間関係の形成と社会への参画の意義について理解している。 ・規則と自由の課題について、カントの道徳法則に基づく自由とJ.S. ミルの自由の考え方を比較しながら理解している ・社会的な存在としての人間のあり方について、アーレントの「活動」、ハーバーマスの「コミュニケーションの理性」、和辻哲郎の「間柄」などの観点から理解している。 ・ものの捉え方や考え方が伝統・文化と関連していることを、先人の考え方や「公」と「私」についての考えから理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・青年期の特徴及び青年期の発達課題としてのアイデンティティの確立、現代社会を生きる課題とキャリア開発、人間関係の形成と社会参画の意義などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・人間存在を、個人としての尊厳、社会的存在、伝統と文化と人間の三つの側面から、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・青年期の特徴及び青年期の発達課題としてのアイデンティティの確立、現代社会を生きる課題とキャリア開発、人間関係の形成と社会参画の意義などについて、主体的に追究している。 ・人間が「個人」として尊重されることの意味について、自由や人格、幸福などに関する先人の思想を手がかりに主体的に追究している。 ・伝統・文化とのかかわりで生きる人間のあり方について、先人の思想を手がかりに主体的に追究している。	○	○	○	26
	定期考査	・用語などに関する出題から、知識・理解の実態を把握する。 ・論述問題などにより、思考・判断・表現能力を見る。 ・自学自習の主体的取組み状況を見る。		○	○	○	1

2 学 期	第3編第1章 民主政治の成立と課題 第3編第2章 日本の政治機構 【知識及び技能】・政治と民主主義、地方自治及び国会、内閣のしくみと役割、政治参加と選挙、政党と利益集団、メディアと世論について、民主政治の実現の観点から理解している。 【思考力、判断力、表現力等】・政治と民主主義、地方自治及び国会、内閣のしくみと役割、政治参加と選挙、政党と利益集団、メディアと世論、政治のしくみや運用にかかわる課題について、民主政治の実現の観点から多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】・政治と民主主義、地方自治及び国会、内閣のしくみと役割、政治参加と選挙、政党と利益集団、メディアと世論、政治のしくみや運用にかかわる課題について、民主政治の実現の観点から主体的に追究している。	・指導事項 第3編第1章 民主政治の成立と課題 1 自由民主主義の成立と危機 2 現代の自由民主主義と課題 3 世論の形成と民主社会 4 政治参加と主権者 5 選挙と政党 第3編第2章 日本の政治機構 1 国会の役割としくみ 2 内閣と行政機関 3 裁判所の役割としくみ 4 市民生活と司法参加 5 地方自治と住民の生活 ・教材 等 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	【知識及び技能】 ・政治と民主主義、地方自治及び国会、内閣のしくみと役割、政治参加と選挙、政党と利益集団、メディアと世論について、民主政治の実現の観点から理解している。 ・地方自治の本旨とそのしくみ、地方財政のしくみと課題、地方自治における住民参加の意義などについて理解している。 ・三権分立と国会の地位、国会の役割と権限、国会の構成と運営について理解している。 ・内閣と国会との関係、内閣の役割と行政組織、行政国家化と行政改革について理解している。 ・消費者契約の特色、消費者法制と消費者の権利、消費者主権と消費者市民社会形成などについて理解している。 ・司法権とその独立、裁判制度のしくみ、違憲審査権、刑事司法のしくみや原則、刑事司法の課題、裁判員制度や検察審査会などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・法や規範の意義と役割、法の成立と適用、市民生活における法と契約。消費者の権利と責任、司法のしくみと司法参加の意義などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・法や規範の意義と役割、法の成立と適用、市民生活における法と契約。消費者の権利と責任、司法のしくみと司法参加の意義などについて、主体的に追究している。	○	○	○	26
	定期考査	・用語などに関する出題から、知識・理解の実態を把握する。 ・論述問題などにより、思考・判断・表現能力を見る。 ・自学自習の主体的取組み状況を見る。		○	○	○	1
3 学 期	第4編第1章 私たちと経済活動 第4編第2章 経済社会のしくみと役割 【知識及び技能】・経済活動の意義、経済循環、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、中央銀行の役割と金融環境の変化、財政の働きと課題、社会保障の考え方と課題について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】・経済活動の意義、経済循環、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、中央銀行の役割と金融環境の変化、財政の働きと課題、社会保障の考え方と課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】・経済活動の意義、経済循環、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、中央銀行の役割と金融環境の変化、財政の働きと課題、社会保障の考え方と課題について、主体的に追究している。	・指導事項 第4編第1章 私たちと経済活動 1 私たちと経済 2 仕事と社会 3 国民経済とGDP 第4編第2章 経済社会のしくみと役割 1 社会のしくみとしての市場 2 市場の機能 3 市場の限界 4 金融とそのはたらき 5 財政とそのはたらき ・教材 等 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	【知識及び技能】 ・経済活動の意義、経済主体と経済循環、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、景気変動と物価などについて理解している。 ・市場経済における価格の働き、市場の失敗と政府の役割について、理解している。 ・貨幣の役割と通貨制度、直接金融と間接金融、金融システム、金融市場と金利の動き、中央銀行の役割と金融政策、金融の自由化などの金融の動向について理解している。 ・社会保障の意義と歴史、日本の社会保障制度について理解している。 ・少子高齢化の進む日本の現状、社会保障の財源確保、社会保障と経済の活性化とのかかわりなどについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・経済循環、市場経済のしくみ、国民所得と経済成長、金融のしくみ、中央銀行の役割、財政の働き、社会保障、労働者の権利と労働三法、などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・経済循環、市場経済のしくみ、国民所得と経済成長、金融のしくみ、中央銀行の役割、財政の働き、社会保障、労働者の権利と労働三法、などについて、主体的に追究している。	○	○	○	15
	定期考査	・用語などに関する出題から、知識・理解の実態を把握する。 ・論述問題などにより、思考・判断・表現能力を見る。 ・自学自習の主体的取組み状況を見る。					合計 70